

みずほCustomer Desk Report 2019/12/17号(As of 2019/12/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.43
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.39	1.1124	121.71	1.3355	0.6875
SYD-NY High	109.68	1.1158	122.23	1.3422	0.6898
SYD-NY Low	109.27	1.1123	121.65	1.3322	0.6869
NY 5:00 PM	109.51	1.1145	122.08	1.3332	0.6886
NY DOW	28,235.89	100.51	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	8,814.23	79.35	日本10年債	-0.030	▲1.00bp
S&P	3,191.45	22.65	米国2年債	1.6294	2.36bp
日経平均	23,952.35	▲70.75	米国5年債	1.7014	4.57bp
TOPIX	1,736.87	▲3.11	米国10年債	1.8714	4.79bp
シカゴ日経先物	24,105.00	165.00	独10年債	-0.2785	1.45bp
ロンドンFT	7,519.05	165.61	英10年債	0.8215	3.35bp
DAX	13,407.66	124.94	豪10年債	1.1640	▲10.00bp
ハンセン指数	27,508.09	▲179.67	USDJPY 1M Vol	4.46	▲0.20%
上海総合	2,984.39	16.72	USDJPY 3M Vol	5.23	▲0.20%
NY金	1,480.50	▲0.70	USDJPY 6M Vol	5.71	▲0.11%
WTI	60.21	0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	185.21	1.40	EURJPY 3M Vol	5.54	▲0.16%
ドルインデックス	97.05	▲0.12	EURJPY 6M Vol	6.00	▲0.09%

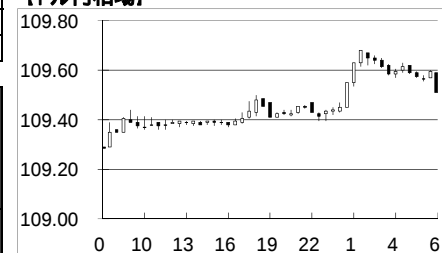
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月16日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初前年比)	11月 8.0%/5.2%/5.6%	8.0%/5.2%/5.5%
	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 43.4/52.0/49.4	44.6/52.0/49.9
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 45.9/52.4/50.6	47.3/52.0/50.7
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	12月 3.5	4.0
	23:45	米 マークイット製造業/サービス業/総合PMI	12月 52.5/52.2/52.2	52.6/52.0/-

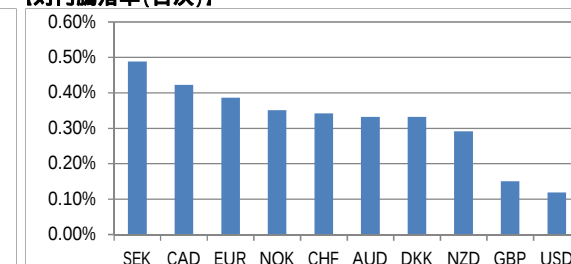
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月17日	08:30	米 カシカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	22:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	11月 1345k/1418k	1314k/1461k
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	11月 0.8%	-0.8%
12月18日	02:30	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 冷戦終結30年

1989年にベルリンの壁が崩壊し、父ブッシュとゴルバチョフソ連大統領がマルタ会談で米ソ冷戦の終結を宣言してから30年経ったことを記念して、今月始めにロンドンでNATO首脳会議が開かれた。核戦争の脅威であった米ソ冷戦の終結は、当時新しい時代の始まりを予感させるものと歓迎されたし、時を同じくして本邦でも新しい平成の30年始まることになる。

さてその平成の30年間は結局どのような時代であったろう。本邦においては急速な少子高齢化、企業の国際競争力低下、財政の悪化等、国力の減退を危惧する声を聞く一方で、国内の政治・社会状況が平穏であることや人口減によって国民一人当たりの所得が向上していることで、ある種幸福な国家であるとの見方もある。どちらの見方が正しいだろうか。どちらかと言えば前者の見方が多いように思う。と言うか、後者の見方に胡坐をかいて、いつのまにか世界第二位の経済大国から転落し、足許では先進国グループからの転落もありえるという状況に追い込まれた、というのがこの30年の真相であろうか。

一方の世界情勢を見れば、ロシアは昔から欧州の脅威であったが、ソ連崩壊後に誕生したロシア連邦は着実に国力を強化しプーチン大統領のもと「強いロシア」の存在感を際立たせてきた。更に、今回のNATO会議では欧州と米国トランプ大統領の対立も浮き彫りとなった。言うまでもなく、拡大した中国は今や欧州からも脅威と見なされ始めている。結局、米ソ冷戦終結時に期待された新しい時代は実現せず、世界は単純な2極対立の時代から複雑な混沌とした時代に入ってしまった。

足許の金融市場は、特にドル/円の為替相場はゴルディロックスが続いているものの、冷戦終結以降の世界をみれば、決して楽観できるものではない。(加藤)

東京	東京時間のドル円は109.39レベルでオープン。イベント通過後で新規材料に乏しく、終日方向感無く推移した。東京時間は上下5銭の幅に留まり、結局109.39レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.39レベルでオープン。特段材料がないなか、約13銭の狭いレンジで推移し、109.43レベルでNYへ渡った。ポンドドルは、1.3388レベルでオープン。英12月製造業指数(速報値)が47.4と、予想の49.2を下回ると売りが優勢となり、1.3325まで下値を切り下げた。しかし、保守党の勝利が引き続き好感されているからか、その後は買い戻され、結局1.3378レベルでNYへ渡った。(ロンドン・ブルーク 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、先週の重要イベントを通過後で手掛かり材料が乏しい中、109.40を挟んだ狭いレンジで推移し、109.43レベルでNYオープン。朝方は米12月製造業PMIが予想を下回った一方、米12月サービス業PMIが予想を上回り、強弱まちまちな結果にドル円の反応は限定的だった。その後、米株の堅調推移(なお、主要株指数は一時最高値を更新)と米金利の上昇にサポートされ、109.68まで上昇するが、前日高値(109.71)手前で上値が重くなり、小幅反落。午後にかけて米金利の上昇が続くも、更なるドル買いには繋がらず、109.60近辺で推移。終盤にかけてトランプ米大統領が「米中貿易合意は今後2週間以内にまとまられる」と述べたが、市場は反応薄だった。結局、小幅に売り戻され、109.51レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは一時1.1150まで上昇するが、フランスとドイツの12月製造業PMIが予想を下回ると1.1127まで反落。早朝にかけて小幅に値を戻し、1.1145レベルでNYオープン。朝方は欧州株が上昇する中、ユーロ買い優勢となり、1.1158まで上昇するが、その後米金利の上昇が重しとなり、1.1135まで反落。売り一巡後は1.1140近辺で方向感の無い推移が続き、1.1145レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
10	9